

展示資料一覧 ※番号はリーフレット内の数字と一致しています

奈良国立博物館・小野忠正コレクション

番号	資料名	数量	出土地	大きさ(cm)	時代・時期	備考
1	浅鉢	1	南部町寺下遺跡	高12、口径33.8、底径8	縄文・晩期	
2	人面付壺形土器	1	南部町寺下遺跡	高17.5、胴径9	縄文・晩期	
3	長頸壺	1	南部町寺下遺跡	高12.5、口径10	縄文・晩期	
4	長頸壺	1	南部町寺下遺跡	高10.5、胴径8.5	縄文・晩期	赤色塗彩
5	注口土器	1	南部町寺下遺跡	高4.2、胴径9.0	縄文・晩期	赤色塗彩
6	土偶	3	南部町寺下遺跡	①長8.5、幅(4.3)、厚2.2 ②長(5.2)、幅(3.6)、厚1.9 ③長4.9、幅4.3、厚1.2	縄文・晩期	
7	亀形土製品	1	南部町寺下遺跡	長3.5、幅2.2、厚1.3	縄文・晩期	
8	三角形土製品	1	青森市三内 (現、三内丸山遺跡)	長3.8、幅3.9、高1.5	縄文・中期	
9	異形石器	1	青森市三内 (現、三内丸山遺跡)	長2.2、幅5.3、厚1.0	縄文・前～中期	
10	骨角器	4	七戸町榎林 (現、ニツ森貝塚)	①長(6.1)、幅1.4、厚0.6 ②長(8.0)、幅1.4、厚0.4 ③長13.3、幅2.3、厚1.8 ④長13.7、幅2.2、厚1.3	縄文・前～中期	①針か、②③へら、④刺突具

青森県立郷土館所蔵資料

11	亀形土製品	1	南部町寺下遺跡	長7.9、幅7.0、厚3.3	縄文・晩期	風韻堂コレクション
12	石刃鏃	1	東通村ムシリ遺跡	長3.9、幅1.1、厚0.25、 重1.2g	縄文・早期	小野忠正氏収集・寄贈資料 黒曜石、北海道置戸(所山)産
13	亀ヶ岡式土器	一式	南部町坨渡遺跡	-	縄文・晩期	当館発掘資料
14	亀ヶ岡式土器	一式	三戸町杉沢遺跡	-	縄文・晩期	当館発掘資料
15	クマ形土製品1点 (複製)	2	弘前市尾上山遺跡	全長14、高8.3	縄文・晩期	3Dプリンターで出力 原資料は当館蔵(風韻堂コレクション) 奈良博に貸出中
16	手形・足形付土製品4点 (複製)	8	六ヶ所村大石平遺跡	①長8.8、幅6.2、厚1.8 ②長10.7、幅7.8、厚1.7 ③長8.6、幅7、厚1.7 ④長11.1、幅(7.3)、厚1.7	縄文・後期	①足形付、②③④手形付 3Dプリンターで出力 彩色していないものは裏面が見えるように展示 原資料は重要文化財・当館蔵
17	遮光器土偶(複製)	1	三戸町八日町遺跡	高(20.4)	縄文・晩期	3Dプリンターで出力 原資料は県重宝・当館蔵(風韻堂コレクション) 奈良博に貸出中
18	大型遮光器土偶(複製)	1	つがる市亀ヶ岡遺跡	高34.2	縄文・晩期	3Dプリンターで出力 原資料は重要文化財・東京国立博物館蔵
19	土面(複製)	1	青森市羽黒平遺跡	長9.8、幅9.0	縄文・晩期	3Dプリンターで出力 原資料は当館蔵(風韻堂コレクション)
20	隆起線文土器(複製)	1	六ヶ所村表館(1)遺跡	高30.5、口径22.4	縄文・草創期	原資料は県重宝・当館蔵
21	狩猟文土器(複製)	1	八戸市葦窪遺跡	高26.0、口径19.2、底径8.0	縄文・後期	原資料は県重宝・当館蔵

奈良国立博物館への貸出資料

22	遮光器土偶	1	三戸町八日町遺跡	高(20.4)	縄文・晩期	県重宝・風韻堂コレクション
23	土偶	1	鱒ヶ沢町大曲遺跡	高15.3、幅(12.1)、厚4.6	弥生・前期	
24	クマ形土製品	1	弘前市尾上山遺跡	全長14、高8.3	縄文・晩期	風韻堂コレクション
25	亀形土製品	1	つがる市亀ヶ岡遺跡	長8.0、幅6.1、厚2.3	縄文・晩期	県重宝・風韻堂コレクション
26	青磁浮牡丹文香炉	1	青森市尻八館遺跡	高16.3、口径20	15世紀(明代)	当館発掘資料 中国・龍泉窯産



22



23



24



25



26

会場：三内丸山遺跡センター（青森県青森市三内字丸山305）

期間：令和3年1月23日（土）～2月21日（日）
※1月25日（月）は休館

主催：青森県立郷土館・奈良国立博物館

共催：三内丸山遺跡センター

郷土館 HP <https://www.kyodokan.com>



編集・発行 青森県立郷土館 〒030-0802 青森市本町二丁目8-14
TEL：017-777-1585

【令和2年度考古資料相互活用促進事業】

青森県立郷土館サテライト考古展示室 with 奈良国立博物館収蔵資料



2 南部町寺下遺跡出土人面付壺形土器
(奈良国立博物館蔵)



12 東通村ムシリ遺跡出土石刃鏃
(青森県立郷土館蔵)

奈良国立博物館には、青森県在住であった故・小野忠正氏が収集した考古資料約1万点(小野忠正コレクション)が収蔵されています。このコレクションは、三戸郡をはじめ県内各地で収集された資料を主体としており、縄文時代晩期の亀ヶ岡文化期の優品が多数含まれていることが知られています。当館には小野氏が採集した縄文時代早期の石刃鏃が寄贈されており、この度、両者が久しぶりに顔を合わせる事となりました。

青森県立郷土館は現在臨時休館しておりますが、所蔵している資料の一部もあわせてご覧いただき、ふるさと青森県のいにしえに思いを馳せていただければ幸いです。

考古資料相互活用促進事業について

国立博物館には日本各地から出土し、国有化された考古資料が多数収蔵されています。それらを地元「里帰り」させて地域の歴史・文化に親しんでもらい、また「里帰り」する資料と交換に地元で保管されている優れた考古資料を国立博物館で展示し、当地の文化を広く紹介するための事業です。

今回は、当館と奈良国立博物館との間で相互貸借を行い、奈良国立博物館が所蔵する小野忠正コレクションが県内で初めて公開される事となりました。また、奈良国立博物館では県重宝・遮光器土偶(三戸町八日町遺跡出土・風韻堂コレクション)など5点が展示されています。

小野忠正コレクション

故・小野忠正氏(明治32年～平成10年)が収集した考古資料で、平成18年に奈良国立博物館に収蔵されました。縄文土器257点、ミニチュア土器54点、石器9,658点、土製品62点、石製品93点、骨角器および貝製品33点、獣骨等100点などを含み、縄文時代以外の資料を合わせると総数10,482点です。本県ゆかりの縄文時代の個人収集資料としては当館所蔵の風韻堂コレクション、弘前大学所蔵の成田彦栄コレクションに次ぐ規模を誇ります。今回の展示は、優品が多い南部町寺下遺跡出土品を中心に、世界遺産候補である三内(三内丸山遺跡)、榎林(ニツ森貝塚)出土品を加えて構成しました。

小野忠正コレクション ※写真の縮尺は不同です。数字は最終ページの一覧表の番号に一致しています。



1～7：寺下
8・9：三内（三内丸山）
10：榎林（ニツ森貝塚）

南部町寺下遺跡

南部町大字剣吉に所在する古くから知られた遺跡ですが、発掘調査は行われていません。

風韻堂コレクションには、本遺跡出土の亀形土製品があります。



現況（2020年11月）



11 亀形土製品（風韻堂コレクション）

県立郷土館が発掘調査した馬淵川流域の遺跡

寺下遺跡が所在する馬淵川流域には数多くの縄文遺跡があります。当館では1994年に三戸町杉沢遺跡、95年に南部町花渡遺跡の発掘調査を行っており、亀ヶ岡文化期のまとまった資料が出土しました。寺下遺跡出土土器と比較しながらご覧ください。

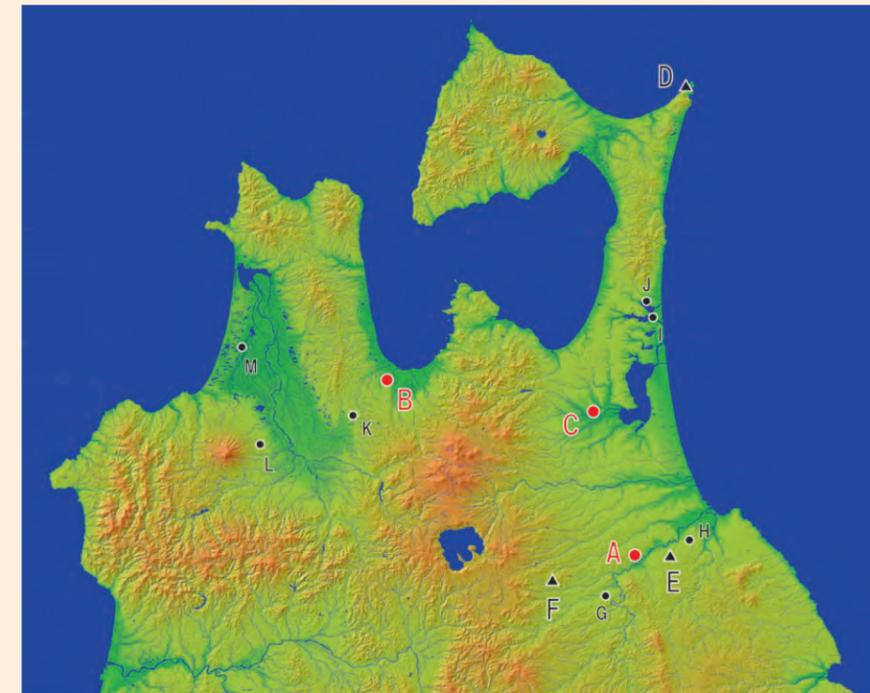


13 南部町花渡遺跡出土 亀ヶ岡式土器



14 三戸町杉沢遺跡出土 亀ヶ岡式土器

遺跡位置図



- 小野忠正コレクション出土遺跡
- A 南部町寺下遺跡
- B 青森市三内丸山遺跡
- C 七戸町ニツ森貝塚
- ▲ 小野忠正コレクションの関連資料出土遺跡
- D 東通村ムシリ遺跡
- E 南部町花渡遺跡
- F 三戸町杉沢遺跡
- レプリカ展示資料の出土遺跡
- G 三戸町八日町遺跡
- H 八戸市葦窪遺跡
- I 六ヶ所村表館(1)遺跡
- J 六ヶ所村大石平遺跡
- K 青森市羽黒平遺跡
- L 弘前市尾上山遺跡
- M つがる市亀ヶ岡遺跡

レプリカ展示 ※掲載写真は現品を撮影したものです。



15 16 17 18 19 20 21

展示資料一覧詳細(埴渡遺跡分)



13 南部町埴渡遺跡出土 亀ヶ岡式土器

番号	資料名	数量	大きさ (cm)	時代・時期	備考
13-①	鉢	1	高10.2、口径20.3、底径14.2	縄文・晩期 (大洞BC式)	
13-②	鉢	1	高12.7、口径13.2、胴径16.2、底径5.0	縄文・晩期 (大洞BC式)	
13-③	台付浅鉢	1	高9.9、口径20.0、底径9.2	縄文・晩期 (大洞B式)	
13-④	鉢	1	高10.4、口径11.0、底径4.7	縄文・晩期 (大洞B~BC式)	
13-⑤	異形壺	1	高11.2、口径3.5、胴径6.2~9.8	縄文・晩期 (大洞B~BC式)	胴部側面に突起 皮袋を模したもののか?
13-⑥	注口土器	1	高10.2、口径8.5、胴径17.0	縄文・晩期 (大洞B式)	注口部破損面にアスファルト状の黒色物質が付着

※展示は番号順ではありません



⑤正面



⑤側面



⑤の突起(左上・赤丸部分)の形状が、小野コレクションのNo.7亀形土製品側面突起(右上・青丸部分)と類似しています。

展示資料一覧詳細(杉沢遺跡分)



14 三戸町杉沢遺跡出土 亀ヶ岡式土器

番号	資料名	数量	大きさ (cm)	時代・時期	備考
14-①	鉢	1	高12.1、口径38.7、底径7.6	縄文・晩期 (大洞C1式)	文様が見えるように底を上にして展示
14-②	台付鉢	1	高18.2、口径22.8、底径11.6	縄文・晩期 (大洞BC式)	
14-③	浅鉢	1	高6.2、口径14.6、底径3.6	縄文・晩期 (大洞C1式)	文様が見えるように底を上にして展示
14-④	注口土器	1	高8.1、口径4.3、胴径9.6、底径1.2	縄文・後期末	注口基部にコブ状貼付
14-⑤	台付鉢	1	口径10.8	縄文・晩期 (大洞BC~C1式)	台部欠損
14-⑥	台付鉢	1	高12.4、口径10.2、底径9.5	縄文・晩期 (大洞BC~C1式)	
14-⑦	壺	1	口径5.8、胴径9.0	縄文・晩期 (大洞BC~C1式)	底部欠損
14-⑧	注口土器	1	高6.6、口径9.6、胴径14.0	縄文・晩期 (大洞C1式)	
14-⑨	鉢	1	高10.7、口径13.8、底径4.5	縄文・晩期 (大洞BC式)	
14-⑩	壺	1	高32.2、口径14.0、胴径31.9、底径7.4	縄文・晩期 (大洞C1式)	

※展示は番号順ではありません



①底面から



①上面から